

平成14年度事業報告書

特定非営利活動法人 萩子どもセンター

1. 事業の方針

わたしたちがすんでいる地域のすべての子どもたちを育む文化活動をめざす

(1) 豊かな鑑賞活動をめざそう

今年度は舞台鑑賞会を5公演、フェスティバルを1公演開催、近隣市町村フェスティバルサポートを6箇所行いました。舞台鑑賞会は全体的に企画バランスが良く、小さい子どもからお年寄りまで充分楽しむことができました。また、会員のみならず広く地域に萩子どもセンターが認知を広げた一年でした。とくに、中高生が中心となって取り組んだ「夏の庭」は、地域や行政、メディア等で大きな反響を呼びました。終了後の達成感、充実感にあふれた子どもたちの笑顔は、受身では味わえない貴重な体験ができたよこびを物語っていました。

また、特別鑑賞会「折り梅」上映会は、事前に松井監督を招き、この映画に対する理解を深めることができ、励みになりました。会員は勿論、地域や行政などたくさんの方の協力を得ることができ、たくさんの方と家族のあり方や地域のつながりの大切さについて考える機会となりました。子どもの参加者が県内でも一番多かったことは、子どもセンターの事業として評価できることはないでしょうか。

(2) 子どもの権利条約の啓発につとめよう

子どもセンターおやこニュース紙上において、毎月「子どもの権利条約を知ろう」として掲載し、広く一人一人の会員さんからたくさんの地域の方に子どもの権利について関心が広がるよう努力しました。

(3) 人の集まる、人から頼りにされる「萩子どもセンター」になろう

今年度は、さらに地域を巻き込んだ活動広げ、認知度が深まりました。ストリートダンスやピヨの会など、会員、会員外の参加も広がり、子どもの居場所、大人の居場所としての役割を果たすことができました。子どもたちは、いろいろな活動を通して、リーダーとして成長してきました。

2. 事業の実施に係る事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	受益対象者の範囲及び予定人数
舞台鑑賞事業	舞台鑑賞 生の舞台を親子で体験する事により、感性を揺さぶり心を育てることを目的とし、プロの創造団体による年4回程度の公演の企画、実施。			
	・「おひさま劇場」ふつうのくま (人形劇団クラルテ) 小3まで	6月14日 18:30～	明倫小学校 体育館	85人
	・夏の庭 (東京芸術座) 小1以上	7月15日 19:00～	萩市民館 大ホール	355人
	・かんがえるカエルくん (劇団 前進座) 合同	9月24日 18:30～	萩市民館 大ホール	147人

	・めばえ寄席 (影向舎) 小1以上	11月17日 14:00～	萩市民館 大ホール	226人
	・みんなの人形劇場 (人形劇団 ののはな) 幼児	平成15年3月 16日11:00～	椿東保育園	50人
	子ども舞台芸術小公演(フェスティバル) 子どもたちが歩いて行ける身近な場所で、友だちといっしょに生の舞台を体験する、日頃鑑賞会が実施できない地域での取り組みを目的とした、プロの創造団体による舞台小公演。山口県子ども舞台芸術フェスティバル(子ども劇場山口県センター主催)の一環。			
	・笛師九兵衛のおもちゃ箱コンサート (葦笛工房)	6月13日 19:00～	椿東小学校	103人
子どもの諸活動支援事業	高学年活動 4年生以上の子どもを対象に交流会の企画、実施。			
	6月 カレーパーティー	6月22日	事務所	11人
	8月 かき氷パーティー	8月23日	〃	13人
	11月 スポーツ交流(バトミントン)	11月15日	市民体育館	20人
	12月 クリスマスパティー	12月26日	事務所	19人
	2月 炎のなべパーティー	2月8日	〃	16人
	3月 お別れ会	3月25日	指月公園	35人
	サマーキャンプ 恒例のサマーキャンプを開催 事前の下見から企画を高学年実行委員が進め開催、異年齢の交流、体験の場になった。	8月10.11日	須佐エコロジーキャンプ場	28人
ストリートダンス 男子グループ「Bell Dance Ground」が山口県青少年健全育成大会のオープニングステージに出演し、好評を得た。 萩夏まつりでのダンスもすっかり定着し、いきいきとした子どもたちの表現の場になっている。今年はメインステージでダンスライブを披露することができ、子どもたちにとって大きな経験や励みとなった。 きららメモリアルイベント「とことん総踊り」に参加し、とことん踊り賞をいただいた。 中高生のダンスレッスンを毎週行うようになり、子どもの居場所としての活動につながった。	7月13日 萩夏まつり 8月3日 毎週 (1月から)	萩市民館 大ホール 吉田町 市役所 駐車場 事務所	23人 50人 23人 毎回 10～20人	
県中高生交流会 子ども劇場山口県センター主催、県内の中高生の交流会に参加。企画から、実施まですべて子どもたちの手により開催。萩からは実行委員2名。	平成14年 3月29.30日	徳地少年の家	15人 (県内参加者119人)	
子どもの広場 子どもたちの遊びの空間を企画、提供する。	8月3日	吉田町	不特定多数	

	会員外の協力も得て、子どもたちの遊び場となり、お祭りを楽しんだ。				
子育て支援事業	<p>ピヨピヨの会</p> <p>0歳児から就園未満児までの親子を対象に遊びの広場、学習会、交流の場を提供。乳幼児を持つ親同士のコミュニケーションをはかる。月2回、自由遊びと企画会を組み合わせ定例化する。</p>	年20回 10:00～ 11:30	萩総合福祉センターほか	延べ 425世帯	
	<p>子育てミニミニ講座</p> <p>身近な人や専門家を講師に、子育てについて楽しく学びあう講座を企画、実施。</p> <p>第1回 のびのび育て 講師 今川元治先生（みどり保育園長）</p> <p>第2回 子どもと絵本とおもちゃ 講師 梅本美樹（子どもの友社）</p>	8月28日 11月23日	萩総合福祉センター サンライフ萩	1回30人 23人 20人	
	<p>その他</p> <p>KRYテレビ「はつらつ山口っ子」モニターを委託されモニター報告をする。</p>				
子どもと文化に関する活動支援事業	<p>自主的影絵集団「べっぴんしゃん」による学校ほか施設の訪問公演（無料）の支援</p>	年33回	市内近郊の学校、施設	延べ2050人	
	<p>セミナー参加や地域のブロック、サークル交流会等活動支援。</p>	年数回			
	<p>ストーリーテリング（お話の会）昔話や童話の世界を語ることによって、本の世界を伝える。</p>	学習会 10回	萩市民館	延べ40人	
	<p>あ・そ・び・ば</p> <p>子どもの居場所づくりの支援として、開催。</p> <p>第1回 こどもまつり 第2回 人形づくり 第3回 笛作り、囲碁 第4回 割箸で遊ぼう、囲碁 第5回 夏休み企画 第6回 ハロウィンデコレーション作り 第7回 ハロウィンパーティー 第8回 読み聞かせ（おもちゃ絵本展と併設） 第9回 人形づくりワークショップ</p>	4月28日 5月25日 6月22日 7月24日 8月20～24日 9月27日 10月26日 12月14日 2月22日	事務所 " " " " " 田町商店街事務所 萩市民館	約100人 24人 4人 8人 34人 3人 23人 30人 23人	
	<p>おもちゃ絵本展</p> <p>子どもの発達を考えたおもちゃや絵本の展示を行う。たくさんの方が興味を持って入場され、子どもセンターを知らせるにも良い機会となる。</p>	12月14日	事務所	不特定多数	
	子どもと文化に関する活動広報事業	子どもと文化に関する活動の紹介、広報活動（チラシ、パンフレットの作成ほか）			
	子どもの権利条約推進事業	ニュースなどで広報、啓発。	ニュース12回		

活動のまとめ

☆ ブ ロ ッ ク

椿東ブロック

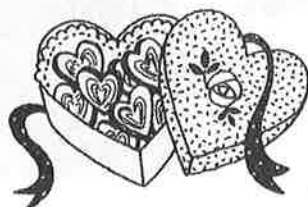
ブロック長 浴野和枝
委員 白神洋子・城一雅子

- ・ ブロック会
- ・ フェスティバル公演
(笛師九兵衛のおもちゃ箱コンサート)
- ・ 舞台鑑賞「かんがえるカエルくん」担当
- ・ 舞台鑑賞「みんなの人形劇場」担当

椿東ブロックでは、今年度「かんがえるカエルくん」「みんなの人形劇場」の二つの舞台鑑賞事業を担当し、6月にはフェスティバルで「笛師九兵衛のおもちゃ箱コンサート」に取り組みました。

ブロック会への参加が少なく、いつも同じメンバーを中心にしての活動でしたが、当日はみんなで協力して運営することができました。ブロック会は、いつも何かの取り組みの前に開くという必要に迫られての開催でした。それもできない時期があり、活動の状況が見えず、ブロックの方々にご迷惑をおかけしました。

みんなが集まれば、いろいろな情報交換で盛り上がります。活動の話し合いのためのブロック会だけでなく、井戸端会議的な集まりなど、気楽な交流の場を多く設けることができたならよかったと思います。



中央ブロック

ブロック長 大嶋千鶴子
委員 松野奈生子・金子真弓

- ・ ブロック会(毎月)
- ・ 舞台鑑賞「おひさま劇場」担当
- ・ 舞台鑑賞「めばえ寄席」担当
- ・ ブロックレクレーション 卓球大会(11月)

今年度は、指月ブロックと中央ブロックが統合して一年目。所帯が大きくなった分、つながりが薄くならないようにコミュニケーションを大事にすすめてきました。毎月開催するブロック会は、話し合いだけでなくお昼ご飯をみんなで持ち寄って食事をして、楽しく親交を深めることができました。(1月:鴨なべ、2月:オープンサンド、3月:お好み焼き、)しかし、おつとめの方が多かったり、まだまだブロック会の敷居が高かったりで、毎月の参加者が同じ顔ぶれの開催になり課題も残しました。

舞台鑑賞は、「ふつうのくま」と「めばえ寄席」を担当し、「ふつうのくま」では、たくさんの幼児世帯会員をお迎えすることができました。「めばえ寄席」では、老人クラブにチラシを配ったり、ケーブルテレビで宣伝し、今までにない高い年齢層の方に生の舞台を見ていただくことができました。また、父の日に合わせた可愛いラッピングチョコや、勤労感謝の日に合わせたプレート付きチョコやろうそくの小物を作って会場で販売しました。

卓球大会は、お父さんの参加もあって大変盛り上がりました。あそび虫の溝部さんは、姉妹対決、夫婦対決、夫婦ダブルスと大活躍!! 日ごろの運動不足も解消できて、いい汗かいた一日でした。これが

らも年に一回はブロックレクレーションをしていけたら良いと思います。

子どもセンターの活動をしながら出会う子どもたちは、明るく素直な子どもたちばかりです。子ども時代にたくさんの大人や異年齢の子どもたちと関わりあいながら育つことの大切さを改めて実感します。同時に、自分の子どもはどうだろう？自分の子どもにどうつなげていけばいいんだろう？と考えさせられます…。

これからも、ブロックみんなのコミュニケーションを大切に、「私にできること」の気持ちと力が少しずつ寄せ合える、そんなブロックにしていきたいと思います。



★ 専 門 部

企画部 ・ 高学年

部 長 吉見浩子

スタッフ 横田千賀子(高学年担当)

田村美千代・木村朱美・藤原智恵子

14年度企画部としては活動できず、高学年活動の支援のみで終わってしまった一年でした。そのため、低学年や幼児を巻き込んだ活動ができなかったことは大きな反省点となりました。

スタッフも低学年を持つ大人がいなく、若い世代の大人スタッフの必要性を感じます。

あなたにできることから、参加しませんか？ちょっとしたことでいいのです、一人ひとりが少しずつ力を出し合って、みんなで子どもの活動を支えていきましょう。

高学年活動のまとめ

高学年代表責任者 伊藤菜穂美

私たちは、小4から高3までのメンバーで活動しています。主な活動にはキャンプ、スポーツ大会、パーティー、子ども劇場山口県センター主催の山口県中高生交流会などがあります。

前年度の実行委員の方々が大変優秀だったので、それに負けないように、ういういしい(笑)実行委員のメンバーで、精一杯がんばってきました。今年は、今まで月一回だった月例会を実行委員が多忙なため、二ヶ月に一回にし、内容の充実を目指しました。しかし、力不足のため、多くの失敗がありました。たくさんご迷惑をおかけしてすみませんでした。

子どもセンターの活動を通して、いろいろな人とふれあうことができ、普通の高校生には体験できないことをたくさん経験し、私たち自身大きく成長できます。高学年の会員のみなさん、こんな貴重な経験ができる子どもセンターの活動に参加しないなんて、もったいないと思いませんか？みなさんの積極的な参加を待っています。

私たちが高学年活動をしていく中で感じることは、大人やOBの方々が本当によく協力してくださるということです。自分たちで考えた企画を楽しく実行していくことができるのも、陰で支えてくださるみなさんの、ご理解とご協力のお陰だと思っています。これからもゆかいな仲間たちで楽しくがんばっていきましょうと思っておりますので、あたたかく見守ってください。



2002年 秋 夏 団 体



ピヨピヨ

部 長 伊藤京子

スタッフ 溝部美樹・城一雅子・白神洋子

田中弘美・中村芳江・末武佳苗

例年どおりの企画を中心に、遊びの場、学習の場として実施しました。今年の特徴としては、子育て支援施設を知ろうということで、子育て支援開放施設での遊びの場の実施、また、ゆっくりお茶を飲む時間を作ったりしました。

企画は定着した感があります。これからは遊びの場の提供としてだけではなく、子育て共有の場としての方向付けも必要だと思います。お母さん方にとっては気を許して集える場、子どもたちにとっては遊びの場であり、集団とのかかわりの中、トラブルの発生も含めて良い経験の場になってくれるよう続けていきたいものです。

ピヨピヨの会は、1993年4月23日、楽々園で初めての会を開いて、早いもので10年経ちました。たくさんの方のお力添えで続けてこれたことに感謝します。



ありがとうございました。そして、これからも子どもたちの笑顔作りにご協力をお願いします。

あそびば

(子どもの居場所づくり・新事業)

責任者 日高洋子

月1回土曜日に事務所を開放し、子どもの居場所づくりとしてスタートし、9ヶ月間(9回)、毎月変化のある内容で展開しました。参加した子どもたちは話を聞いてもらうことが嬉しくて、スタッフとのコミュニケーションを楽しんでいました。特に夏休み中は参加者が多く、お弁当持参で一日創作活動にじっくり取り組み、達成感を味わう事ができました。また、スタッフとして、大学生・高校生、また新しい講師の発掘などの人材を得ることができ、これからの活動に新しい力を見いだしました。

また、事務所の開局を夕方までに変更したため、平日でも学校帰りの高校生が集まれるようになり、事務所が子どもの居場所としての機能を徐々に果たせるようになってきました。

今年度から学校週5日制の実施により、諸行事が土曜日に集中したため、参加が難しい現状があり、今後の課題として、長期休み(春・夏・冬)に実施して行く方向で展開、支援者などの人材育成の必要性を感じています。

財政

スタッフ
樋口ますみ・清須紀江

チョコレートの取り組みを主に行って来ました。シーズンごとの企画も定着し、職場で積極的に取り組んでくださる会員さんにも支えられています。ふるさとまつりでのチョコレートの販売は喜ばれています。また、今年度もしろうおまつりに参加し、お天気にも恵まれて、売上を伸ばしました。

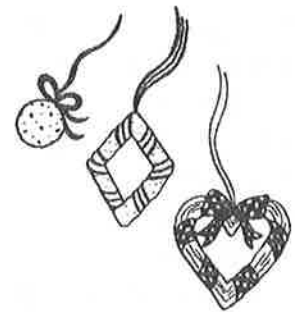
チョコレートは、事務所にも置いてありますのでご利用ください。



広報

部長 有田真美子
スタッフ 末舛訓子

年間を通じて、センターの活動のチラシ制作、チラシの配布、昨年は1回の発行になりましたが、機関誌「Friends」の発行にとどまりました。会の中に向けての広報と、会の外へ向けての広報と両方を行うには、もう少し手伝ってくださる人員が必要かな?と感じています。これから、まだまだ子どもセンターの活動が活発になっていく中、情報を提供するという広報活動もますます重要になってきているようです。



☆ 舞台鑑賞会

中央
ブロック
担当

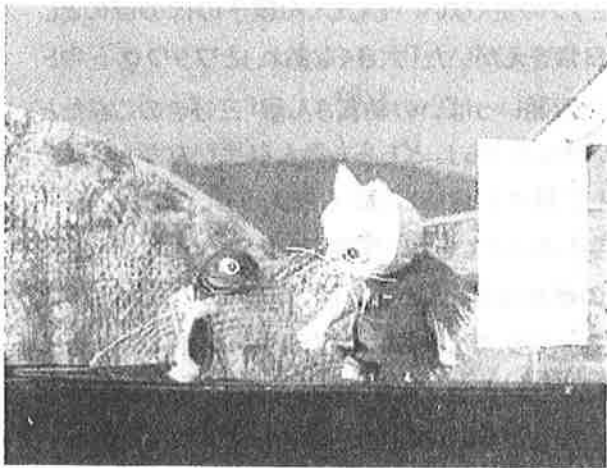
「おひさま劇場—ふつうのくま—」

《人形劇団 クラルテ》

2002年6月14日(金) 18:30~

明倫小学校 体育館

「くまとねずみ」「ネコとへび」が主人公の2本の人形劇は、“ともだち”をテーマにした、チェロの生演奏とお話の組み合わせがとてもすてきな作品でした。舞台との距離も近くて、まじかに観る可愛い動物のしぐさやくまとねずみの家のセットに「どうなっているんだろう？」と興味津々。アンケートでも全員の方が「楽しかった」に○を、中には、はなまるや2重まるがありました。また、うれしいことにたくさんの新しい会員さんも増えました。



高校生6人、中学生2人、おとな5人が実行委員となり、実行委員会が中心となって取り組みました。高校生の実行委員長を中心にチラシの作成、ポスター貼り、広報活動などすべて子どもたちがやり、当日も受付や会場係、小夜食づくり、アンケートなど高学年の子どもたちが担当しました。より多くの子どもに見せたいと子どもの参加費を1000円にしたのですが、チケット売りはなかなか大変でした。



新聞などでも活動が取り上げられ、鑑賞活動を子どもたちが主体的に取り組んだ意義は大きかったと思います。

作品としては、取り上げているテーマ、役者、舞台ともに見ごたえがあり、充足感のある舞台劇でした。



実行委員会
担当

「夏の庭—The Friends—」

《東京芸術座》

2002年 7月15日(月) 19:00~

萩市民館 大ホール

実行委員長 横田明彦

委員 吉見一貫正頼・吉村亜美・山田翼
伊藤菜穂美・藤井里恵・沼沢野花
石川実希・石丸智子・杉山浩司
吉見浩子・大嶋千鶴子・吉村玲子



「かんがえるかえるくん」

《劇団 前進座》

2002年 9月24日(火)18:30～



いわむらかずおさんの絵本でおなじみのお話。かえるくんとなかよしのねずみくんのやりとりがほのぼのとして、なんだか気持ちがホッとする作品でした。子ども達が時々ふっと不思議に思う身の回りの何気ないことがらを、そのまま通り過ぎずに、ちょっと足をとめて考えてみる…その楽しさが子どもたちにも伝わったのではないのでしょうか。

当日は、ブロックの小さい子どもたちも折り紙を折って、会場の飾りつけを手伝ってくれました。



「めばえ寄席」

《ようごうしゃ 影向舎》

2002年11月17日(日)14:00～

萩市民館 大ホール

昼間の公演ともあって、いつもとは違ってご年配の方が目立ちました。手品に挑戦した女の子、迫

力満点の^{たいがくらまぐい}太神楽曲芸、子どもも大うけだった落語“^{てんしき}転失気”のはなし、…などなど、あっという間に2時間がたってしまいました。「地方にいて、生で聴くことができない落語を見ることができた。何より子どもが喜んでいた。」「たまご落とし—手に汗握る感覚でした。生の舞台の鮮度を感じました。」と、みなさんの感想からも、私たちの国の素晴らしい伝統文化をたくさん味わうことができた様子が伝わってきました。

椿 東
ブロック
担当

「みんなの人形劇場」

《人形劇団 ののはな》

2003年3月16日(日)11:00～

椿東保育園 遊戯室

セリフの全くないいもむしくん親子のほのぼのとした日常をえがいた「大きなあれ」とワクワク・ドキドキの展開いっぱい^{のうとみ}の納富さん版「三びきのこぶたとちいさなおうち」。どちらもみんな笑いながら、声を出して様々に反応しながら見入っていました。親子で楽しめるとてもよい作品でした。しかしながら、当日の参加は56人と少な目。事前のワークショップについても、チラシによる宣伝や声かけに対する反応はいまひとつ。参加の輪をどのようにして広げるか、もっとみんなで考え、工夫していく必要があるようです。

ブロックの事前活動で「いもむしくんキット」を作り、受付に用意したところ、おみやげとして大好評でした。



実行委員会
担当

特別鑑賞会

映画「折り梅」上映会

2003年2月1・2日 4回上映

萩市民館 大ホール

実行委員長 日高洋子

委員 末舛訓子・有田知永・大嶋千鶴子

伊藤京子・石丸智子・市原加代子

金子真弓・吉村玲子

10月の企画全体会で、映画(折り梅)を鑑賞事業として取り組む事が決定し、実行委員会を組織して取り組みました。家族のあり方、介護をテーマに生きる事を様々な年齢層のたくさんの人に感じ取っていただけました。

会員の努力は勿論のこと、他団体や行政の協力など、これまでつながりなかった新しい団体ともネットワークを広げる事ができ、地域に根ざした萩子どもセンターとして新しい広がりを生み出したことは、大きな成果でした。

梅の花が満開のこの季節に、「折り梅」上映会を実施し、家族や子育てについて考える契機になりました。



第11回山口県子ども舞台芸術フェスティバル
「笛師九兵衛のおもちゃ箱コンサート」

《葦笛工房》

2002年 6月13日(木)19:00~

椿東小学校 体育館

椿東地区の子どもたちを対象に、生の舞台を間近で鑑賞し、その楽しさを知ってもらうために毎年開催してきたフェスティバル、今回は九兵衛さん手作りの世界に一つしかない笛を中心とした様々な楽器によるコンサートでした。九兵衛さん一人で演じられるので、体育館では広すぎるかなとも思いましたが、熱心に舞台を楽しむ子どもたちには関係ないようでした。身近にあるものが思いがけない楽器に変身する驚きと発見に、子どもも大人も十分に楽しめた舞台だと思います。

椿東小学校の先生方も数名鑑賞してくださいました。また、公演後会場を変えての交流会も九兵衛さんにちくわの笛の作り方を教えていただくなど楽しいものになりました。 〈椿東ブロック〉

